

任期後も黒島の皆さんと一緒に島づくりを 黒島地域担当 三原直也

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊として黒島地域で活動する三原です。私は佐世保市の第1期生の地域おこし協力隊として3年前に黒島に着任しました。出身は広島県で、東京や福岡でサラリーマンとして働いていましたが、縁あって黒島のことを知り、不思議な魅力に引かれてやってきました。

主な活動は黒島での観光業の推進です。3年前に着任した当時は観光拠点施設である「黒島ウェルカムハウス」のオープンが決まっていたものの、お土産品や観光用ホームページなどもなく、観光客の方々を受け入れる態勢が十分に整っていない状況でした。着任して間もないこともあり、地域の皆さんの言葉(方言)すらほとんど聞き取れない状況でしたが、地域行事などに参加しながら人間関係を築き、活動を進めていきました。初めての離島生活で慣れないことも多い日々でしたが、実際にはそれとは裏腹に、毎日が新鮮で充実感のある生活になっていったことを思い出します。

また、3年間地域に密着して活動していると、地域を取り巻くさまざまな課題が見えてくるようになりました。



例えば、深刻な人手不足と超高齢化、漁獲量が減少していく漁業、そして児童生徒数が10人前後となった小・中学校など。地域の課題はかなり広い範囲にわたっていて、解決は簡単ではありません。しかし、私が最も驚いたのは、その課題に対し決して諦めたりせず、笑い合い、助け合いながら課題に挑んでいく地域の皆さんでした。私はその姿に励まされ、勇気付けられ、胸がいっぱいになったことを覚えています。

私は地域おこし協力隊として活動をしていく中で、次第にこれらの課題をうまく解決できないかと興味を持ち始めました。私はことしの3月で地域おこし協力隊としての任期を終了しますが、引き続き黒島に住みながら、課題を解決するお手伝いをしていきたいと考えています。具体的には島づくりを行う組織を立ち上げ、将来的な黒島の発展を地域の皆さんと一緒に実現していくつもりです。市民の皆さんもぜひ「黒島」に興味を持っていただき、黒島に来ていただけると嬉しいです。皆さんのご来島を心からお待ちしております！

◎地域政策課 ☎ 24-1111

地域おこし協力隊活動報告会



本市で活動する6人の地域おこし協力隊の皆さんによる活動報告会を開催します。平成29年度の活動状況を振り返り、今後の活動などについて説明します。

日時 3月10日(土) 18時～20時
場所 アルカス SASEBO
料金 無料(申込不要)

◎地域政策課 ☎ 24-1111

人の動き

2月1日 現在
総人口 251,072人(前月比-216人)
男性 118,536人(-95人)、女性 132,536人(-121人)
世帯数 105,234世帯(前月比-76世帯)
1月中の動き
転入 442人、転出 456人、出生 186人、死亡 388人

させぼ市政だより

テレビ
NBC 土曜 9:25～9:30、NCC 土曜 11:40～11:45
KTN 土曜 11:45～11:50、N1B 日曜 6:30～6:35
ラジオ
FM長崎 火曜 9:05～9:10
FMさせぼ 金曜 13:00～13:55、土・日曜 8:00～8:55(再放送)
新聞 長崎新聞 毎月第2・4火曜

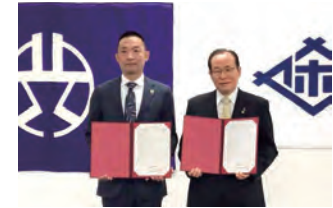


災害時相互応援協定の締結 渋谷区とのさらなる交流を

1月24日、本市は「渋谷区及び佐世保市災害時相互応援に関する協定」を締結しました。締結式は長谷部健渋谷区長に出席していただき、渋谷区役所で行いました。

この協定は、どちらか一方の自治体で大規模災害が発生し、被災した自治体だけでは十分な応急措置ができない場合に、被災した自治体の要請により、他方の自治体が応急物資や資器材の提供、復旧に必要な職員の出遣などを行い、被災自治体の応急対策や復旧対策が円滑に行われることを目的としたものです。渋谷区と佐世保市は遠隔地にあり、同時期に同じ大災害に見舞われる確率が低いことから相互応援協定を結び意義があるとの考えが一致し、今回の協定締結となりました。

この協定は「平時における人的・文化的交流を深める」という内容を盛り込んでいるところが特徴です。これまでも相互交流としては、渋谷センター商店街と四ヶ町商店街との姉妹商店街としての交流や、渋谷センター商店街電飾広告塔を利用しての九十九島PR、「渋谷短編映画祭クライマックス at 佐世保」の開催など、さまざま活動を続けてきましたが、今後はさらに観光交流や文化交流、教育交流なども行っていきたいと思っています。こうし



長谷部渋谷区長(左)と朝長市長(右)

た交流が、いざというとき災害時相互応援協定を有効に機能させることにつながるのではないかと考えています。

この協定は災害時における協定ですが、日頃から両区・市民の交流を深めていこうという意味合いも込められています。市民の皆さんも上京される機会があれば、ぜひ渋谷区を訪問していただき、渋谷駅ハチ公前広場にある旧東横線電車を改造した渋谷区観光案内所や、スクランブル交差点からすぐの渋谷センター商店街などにお立ち寄りいただきたいと思います。

また、渋谷区から佐世保市への観光客も、この協定を機に増えるかと思しますので、おもてなしの心と親しみを持って迎えたいと思います。

佐世保市長 朝長 則男



聞いて「徳」する話 34 気持ちの良い言葉の掛け合い

先日、お正月ということもあり、親戚一同が集まる機会がありました。我が家のいとこは数が多いのもさることながら、上は40代からは小学生と幅広い年代がいます。

しばらくすると、一番年下の小学生のいとこが一人廊下で泣いているところに遭遇しました。「どがんとしたと？」と聞くと、「恥ずかしかった」と一言。小学生のいとこは「みんなちゃんとあいさつしよるけん、私も大きな声であいさつしたら、うるさかってお父さんから怒られた」と話します。とてもまじめに、一生懸命あいさつをしたのに怒られてしまったことが、本人には悔しく恥ずかしかったようでした。

その様子を見て、大人は子どもが一生懸命頑張っているのを見て、まずはほめてあげることが一番なのではな

いかと感じました。そこから子どもが自分で考えて、伸び伸びと成長していくのではないかと思います。私自身、まだ子育てをしたことはありませんが、しっかり子どもの考えを尊重できる親になっていければと思いました。

(30代・男性)

「聞いて徳する話」募集中
身の回りで見つけた「聞いて「徳」する話」を募集中です。応募用紙は事務局で配布しており、市HPからダウンロードすることもできます。
事務局
佐世保徳育推進会議(佐世保市教育会内)
〒857-0054 栄町4番11号
電話・ファクス 23-2856
Eメール sasebotokuiu@alpha.ocn.ne.jp